



TERRAとも
NPO 法人 地球市民友の会

第 30 号

2018 (平成 30) 年 10 月

NPO 法人地球市民友の会

藤沢市高倉 258 東勝寺内

☎0466-44-7570

FAX: 0466-44-0452 E メール: npo.terratomo@gmail.com HP: <http://www.terratomo.com>

お寺に泊まって、世界を知ろう!

バーベキュー、花火、坐禅、お話、流しそうめん・・・価値ある体験が一杯

8月18日(土)と19日(日)、夏休み恒例のお泊り会を開催した。11回目となる今年は、小学生13名が参加した。また、バーベキューのみの参加12名と流しそうめんのみの参加14名合わせ、延べ39名の参加者があった。今年のお泊り会のキャッチコピーは、昨年までの「お寺に泊まろう」から「**お寺に泊まって、世界を知ろう**」に変えた。この事業は元々国際交流や国際理解を図ることにあつた。従って外国につながる子どもたちの参加が少なく日本人が多くなってきたこともあり、日本はもとより世界について学ぶための時間、国際理解を深める時間も必要ではないかという考えでプログラムを一部変更した。

初日は、午後5時に東勝寺本堂に集合して開会式。一泊二日を共に生活するお友だち、子どもたちにとってはお兄さんお姉さん役として世話をしてくれる文教大学の学生さんたち、TERRA ともボランティアスタッフの皆さんの顔合わせが行われた。今回は好天に恵まれ、野外での活動が予定通りできた。まずはバーベキューから。美味しそうな食材が用意され、バーベキューパーティーはにぎやかに、楽しく、満足感をもって終えることができた。続いて夏の夜のお楽しみ定番の花火にしばらく歓声があがり、最後は夏の夜の定番メニューのワクワクドキドキ感一杯の「肝試し」。真っ暗な中、遠くのろうそくの明かりを頼りに竹林や墓地を通り、目的地の子育て地蔵堂にお参り、帰りは異なる道を通ってスタート地点へ戻るというもの。途中には様々な肝を冷やすようなものが現れることもあり、意を決して一人で行く子どもは少なかった。行きはコワゴワだが、帰りはみんな興奮気味に感想を語ってくれた。「〇〇が怖かった! 全然平気だった! ? 楽しかった! もう一度一人で行きたい!」等々。子どもたちにとっては非日常的な体験が新鮮だったようだ。

翌朝は6時起床。すがすがしい空気の中、本堂や客殿、縁側や境内の清掃に取り組んだ。そして清々しい気持ちになったところで、黒澤住職の手作り粥の朝食をいただいた。子どもたちが日常食事をする時とは違う行儀作法に戸惑いながらも満足そうだった。

朝食後、自由時間を挟んでお寺だからこそできる体験の坐禅に入った。静寂に包まれた本堂で、瞑想の世界へと入っていった。今まで気にも留めていなかったセミやわたりの鳴き声や電車の音が聞こえてきた。また、初めて耳にするようなビシッ、バシッという警策の音が堂内に響き渡った。

瞑想の後は「世界を知ろう」の時間。講師には長年日本国際機構(JICA)に所属し、開発途上国への国際協力に関わってこられた河合恒二氏によるお話を聞いた。小学生低学年から大学生、大人という幅広い聞き手にも関わらず、プロジェクターや資料を使いながら分かり易く話を伺うことができた。世界が抱える課題(12億人ともいわれる貧困層の問題、汚染された水による疫病等で死亡する乳幼児は年間50万人に達するという。また、学校に通えない子どもたちが世界には数千万人いて、読み書きや計算を習得していない子どもたちが2億人以上いるという事実等々)について日本と対比しながらの説明が子どもたちの興味を引いたようだった。ある小学生は印象に残ったことを次のように話してくれた。「一分に一人の割合で子どもが死んでいくなんで、学校に行かないで働かなければならなかったり、遠い所まで水を汲みにいかなければならいなんて! それに比べると私たちはすごく恵まれているんですね・・・」

講義の後は、学生さんのリードでお楽しみ会の時間。ビンゴゲームをしばらく楽しんだ。

そして、お泊り会の最後のプログラム、“大流しソーメン”。太く長〜い竹の樋を流れくぐるソーメンやフルーツに大いに盛り上がった。お腹も心も一杯になったところで楽しかったお泊り会は終了。非日常の世界で共に過ごした二日間。子どもたちの帰る後ろ姿は、ちょっぴり大きくなったように見えた。



太い竹を切り枝を払い、上部を切り抜き、節を除いて流しソーメンの樋の完成！
右は寝床用のゴザのクリーニング。子どものためならエンヤコラ！でも暑い！



みんなで楽しいバーベキュー
いろんなお肉に、野菜に、焼きそばに・・・まんぷく（満腹）で～す！



朝の清掃の時間・・・本堂の掃除、縁側の雑巾がけ、境内の掃き掃除

夏の夜のお楽しみ・・・花火



作法を学びながらいただく朝粥

体を整え、心静かに坐禅

「世界を知り、日本を知る」河合さんのお話



お兄さんお姉さんとビンゴ フルーツも流れてきた！ 和尚さんのお話とお泊まり会の振り返り

【参加者の声】

- ・楽しかったです。 ・みんなといっしょになるのが たのしかった。 <2年>
- ・花火と肝試しがすごく楽しかったので、来年もできたらきたいと思いました。 ・流しそうめんの流れるはやさが思ったより早くて、つかみにくかったけど、いがいとれたので うれしかったです。 <3年>
- ・きもだめしのおばけが そんなにこわくありませんでした。せんこう花火でどっちがたくさん長く光っているかバトルしたのが楽しかったです。 ・きもだめしがこわすぎて一人でいけなかった。 <4年>

・花火はもうすこし場所を広くした方が良いと思った。肝試しはとてもびっくりした。ざぜんは少しつらかったけど集中できた。 ・ビンゴをしたのがすごく楽しかった。坐禅のたたかれるのはちょっといたかったけど、いい経験になった。肝試しは怖かった・・・。 ・バーベキューではお肉を一杯食べました。お楽しみ会はビンゴがすごく面白かったです。 ・バーベキュー、肝試し、そうじ、ゲーム、流しそうめんがとっても楽しかった。次は、「水遊び、スイカわり」がしたいです。坐禅はたたいてもらわず、自分でたたいている気がしたので心が何もなかったです。肝試しはこわかったけどものすごくおもしろかったです。<5年>

<大学生>

・「お寺に泊まって、世界を知ろう」というテーマは非常に素晴らしいと思いました。国際学部の私たちもなにかお手伝いできたらなと思いました。今年もすばらしい思い出ができました。子どもたちもたのしんでくれて、私たちもとてもうれしかったです。また、地球市民友の会のみなさまには大変感謝しております。ありがとうございました。来年、私はいけないのですが、これからも HOP をよろしくお願い致します。 ・昨年と今年で2回目の参加でしたが、今年は JICA の方のお話を聞くことができ、勉強の面でも学べる部分があつてとてもよかったです。女子の方が多かったのに本堂ではない方で寝たのは少しく感じました。ロシア人の保護者の方に女子の学生はなんで男子みたいに遊ばないのかといわれてしまいました。来年から思いっきり遊んであげようようにしたいと思います。 ・坐禅が一番心に残っています。いつも何かと忙しい日々を送っている私にとって心を落ち着け自分の心とそして自然の音に耳をかたむけるという貴重な体験をさせて頂きました。また、バーベキュー、肝試しなどを通して子どもたちとコミュニケーションをとることができました。子供たちとの接し方などより深く考えさせられることもありました。

TERRAとも交流サロン開催

9月29日(土)午後6時30分、湘南台の菊華大飯店に於いて「TERRAとも交流サロン」を開催した。NPO地球市民友の会の会員や役員等14名が参加して懇談、交流を深めることができた。その時の主な話題は以下の通り。今後みんなで共有していきたいような話も多くあり、大変有意義な交流会であった。

・日本語友の会で学んでいる生徒さんの熱心さが際立つ。最近では、日本語検定試験のN4、N3、N2の資格を持っていながら教室で「日本語での会話をドリルしたい」「更に上級をめざして勉強したい」等の願いをもって入室する生徒さんが増える傾向にある。 ・生徒の「熱心さ」には、教える側も熱意でもって応えていかなければならないと思う。 ・生徒のニーズを常に把握しながら教材を選択することが大切ではないか。また、楽しく学びあえる教材や教え方を工夫することも必要なのではないか。 ・生徒と学びあう中で最近感じることだが、日本語の発音(外国語とは異なる音がある)や文法(かつて学校で習った国語の文法とはかなり違う)を学び直す必要があるようだ。(指導時に文法用語を直接使うわけではないが) ・彼らが日本語を学ぶことは、彼らの生活を支えることなのです。私たちは、力に限界はあるが一生懸命やっつけていかなければならないと感じます。 ・生徒が集まってくるということはTERRA ともの評判が良くなってきているからだと思う。 ・TERRA ともの活動ができることはいくらお布施の心があるからとは言え、住職や檀家の方々、東勝寺を支えている皆様のご理解があつてのことと思う。本当に有難いことです。 ・来日した外国市民に対して、日本語や日本文化、教育等について学ぶプレスクールで3ヶ月から半年程度研修してから、本格的に生活を始めるような形がとれると良いのに。 ・介助員制度はあるが、年度途中で来日する子どもたちの中に介助を必要とする子供がいた時があつたが、そのようなときに介助員をつけられるようになると良い。 ・外国人や老人にはなかなかアパートを貸してもらえないことが多い。同じように住民税を払っているので、行政としても支援してほしいものだ。

2年間のペルーでの活動に終止符!

~FROM “カルタ デ タンボグランデ”~ by 田崎丸美

¡Hola!こんにちは。ペルーで過ごす日々も残りわずかとなりました。協力隊への参加を考え始めてから、選考試験、鹿児島県高隈町での研修、長野県駒ヶ根市での訓練、そしてペルーでの2年間といろいろなことがあったな、と思い出します。2年前に町に着いた時は誰も知り合いはおらず、スペイン語も片言で不安ばかりでした。町を歩いては、中国人だと物珍しそうに見られ、物の値段も分からないので、市場では騙されてばかり。

友だちもいないので、1人になってしまう週末が来るのが憂鬱。それが今は、町に沢山の友だちがいて、「マルミ」や「先生」と声をかけてくれます。聖歌隊や民族音楽のグループという職場以外の居場所もあり、毎週末のミサや開校記念日等の様々な機会に演奏活動をしています。協力隊に来る前はどの縁もなかったタンボグランデ町ですが、今では友だちが沢山出来ました。町自体は年中暑くて、停電や断水で不便ですが、友だちのおかげで、町を好きになることが出来ました。2年間、元気に活動できたのも友だちのおかげです。町を去るのは寂しいですが、またここで出会った人たちに会うため、戻って来たいと思います。

活動のまとめ

コミュニティ開発という職種で派遣され、農業に関する活動をすると思いましたが、主に環境教育の活動を行いました。そこに至ったのも様々な経緯があります。農業を活かした観光事業をしようとしても、一緒に働く職員がおらず、やっと担当の職員が出来たと思えば、すぐに解雇となってしまいます。治安の問題もあり、1人で畑に行かせてもらうことは出来ません。何も出来ることがなく、ボランティアの存在意義を悩み、実質1人で何が出来るか考えたところ、配属先が必要としていた環境教育に落ち着きました。その他に、折り紙や音楽など芸術の授業で求められることがあり、自分が必要とされていると感じて心の支えになりました。



学校での環境教育

2年間で小中学校12校、約2500人の生徒を対象に環境教育を行いました。教材は模造紙や自然の循環に関する模型を作ったり、ワークショップを考えたり、手探りで生徒の反応を見ながら少しずつ内容を改善していきました。特に2年目には自分の任期終了後も継続する環境教育を目指して、中学校の環境委員に教え、彼ら自身に教材を作らせて他の生徒に教えてもらうという企画を行ったのは成功でした。中学校1,2年生はまだ幼いので皆の前で発表出来るか心配でしたが、なぜか3年生よりも上手に発表出来る子ばかりでした。4,5年生は落ち着いていて、回数をこなすと先生のように教えることができる生徒もいました。教材と、授業を行うことが出来る生徒たちは学校に残るので、今後も継続するよう先生たちに頼んで学校を去りました。私がいくら環境教育を行っても、残念ながらポイ捨てはなくなりません。ただ、授業で話したことが少しでも生徒たちの心に残って、家族や友達に伝えてくれたり、日本や私のことを思い出した時に、少しでも環境に良い行動をとってほしいと願います。

折り紙の授業

2年間で4校の小学校で折り紙を教えました。折り紙は初めての子が多く、半分に折るように言っても半分ではなかったり、分からなくなるとすぐに「やって!」と駆け寄ってきてしまっていて大変でしたが、完成した時の嬉しそうな顔や、いくつも作って満足そうな様子を見ると教えて良かったな、と私も嬉しくなりました。芸術の授業で喜ばれる折り紙は日本の大切な文化の一つだと感じました。

2年間応援いただきありがとうございました。ペルーの文化を学び、日本社会についても考え、何があっても前向きに進むという姿勢を身につけ、素晴らしい仲間に出会い、協力隊に参加して本当に良かったと思える2年間でした。帰国後は、この経験を活かして地域社会に貢献したり、常に夢や目標を持って自分の力が活かせることを考えながら努力したいと思います。そして何より、今までお世話になった方々に、感謝の気持ちを行動で表せるような人になりたいと思います。 ¡Muchas gracias! 2018年9月26日

田崎さん、ペルーでの協力隊員としてのお勤めご苦労様でした。その間の活動やペルーについて毎月送ってくださる情報誌を通じてたくさんを知ることができました。本当に有難うございました。これからのますますのご活躍とご健勝をお祈りいたします。 TERRA とも一同

お疲れ様

これからの主な行事・お知らせ

- ☆MINTOMO 交流会 日時： 12月 1日(土) 場所：湘南台公民館 10:00より
- ☆年末国際交流会 日時： 12月29日(土) 場所：東勝寺 18:30より

ボランティア募集！ 皆様のお力をお貸しください

MINTOMO 交流会でのもちつき、年末国際交流会での会場づくりや運営スタッフを募集しています。ご協力お願いします

